

# アルム純の使い方

## 果菜類



定植時	2000倍液にどぶ漬け
定植以後	1000～2000倍液を灌水・灌注で10日毎に施用して下さい。
葉面散布	1000倍液を14日毎に散布

葉面散布での光合成促進効果もあります。  
農薬との混用は1000倍液で施用して下さい。  
その時の農薬の希釈倍率は規定より薄くして下さい。(減農薬)

## 果樹類



春肥以降 ～ 果実肥大期	1000～2000倍液を葉面施用して下さい。(月2回位)
--------------------	------------------------------

アルム『純』の500倍液を10L/本に施用も効果的です。  
(株元から1m位の所に5～6箇所穴を開けて施用)  
葉面散布での光合成促進効果もあります。  
農薬との混用は1000倍液で施用して下さい。  
その時の農薬の希釈倍率は規定より薄くして下さい。(減農薬)

## 根菜類



成育期 ～ 肥大期	1000倍液を灌水・散布2～3回/月施用
-----------------	----------------------

葉面散布での光合成促進効果もあります。  
農薬との混用は1000倍液で施用して下さい。  
その時の農薬の希釈倍率は規定より薄くして下さい。(減農薬)

# 葉菜類



双葉展開期	2000倍液を散布・灌水
本葉3～4枚展開時 ～ 収穫10日前頃まで	1000倍～2000倍液を2～3回散布・灌水

1作目～4・5作目まで同時に施用して下さい。液肥・灌水時に合わせて同時施用して下さい。  
農薬との混用の場合は1000倍液で施用して下さい。  
その際には農薬の希釈倍率を薄くして施用して下さい。(減農薬)

# 花卉類



定植時	2000倍液にどぶ漬け
定植以後	1000～2000倍液を灌水・灌注で10日毎に施用して下さい。
葉面散布	1000倍液を14日毎に散布

葉面散布での光合成促進効果もあります。  
農薬との混用は1000倍液で施用して下さい。  
その時の農薬の希釈倍率は規定より薄くしてください。(減農薬)

# 水稻



育苗期	2000倍液に24時間浸漬
苗・硬化前期	2000倍液を散布
苗・硬化後期	1000倍液を散布
出穂前7～10日	1000～2000倍液を散布
出穂後7～10日	1000～2000倍液を散布

農薬との混用につきましてはボルドー液・アルカリ硫黄剤との混用は避けて下さい。  
他の農薬との混用は1000倍以上の希釈でご使用ください。

灌水（かんすい）趣味の園芸ではホースやジョウロで与える。  
散布（さんぷ）噴霧器、ハンドスプレーなどで与える。